

平成29年度 第1回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（東部管内）を開催しました



平成29年7月25(火)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（東部管内の5箇所）における環境配慮について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

検討会の様子



十八成浜海岸（石巻市）



南北上運河（東松島市）



大曲浜海岸（東松島市）



州崎海岸（東松島市）

アドバイザーからの主な意見

- 十八成浜海岸
底生動物等が遡上するため、水門ゲートは開いているほうが良い。
保全対策の効果を確認するため、アマモの調査を行うことを提案する。
- 南北上運河
ヨシ原のような環境を出来る限り残すことで底生動物等が戻ってくると思われる。
底生動物等移植した箇所については、生息環境を整えるため、小さい碎石を撒くと良い。
- 大曲浜海岸
移植したハマナスは元の生育環境に再移植しても生育するとは限らないので再移植する必要はない。
- 州崎海岸
不老山付近に生息するハマナスは定期的な手入れもしくは前浜への移植が必要になる。



ハマナス（維管束植物）
バラ科バラ属の落葉低木、夏に赤い花を咲かせる。園芸植物として採取が危惧がある。また東日本大震災の津波に遭遇し絶滅した所も多々ある。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



平成29年度 第2回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（気仙沼管内）を開催しました



平成29年8月1(火)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（気仙沼管内の5箇所）における環境配慮について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

検討会の様子



只越川（気仙沼市）



大谷海岸（気仙沼市）



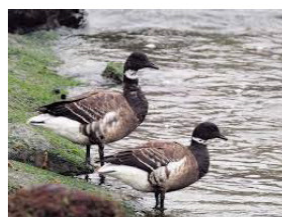
中島海岸・津谷川（気仙沼市）



志津川漁港海岸（南三陸町）

アドバイザーからの主な意見

- 只越川
河床の仕上がり具合が将来、カンキョウカジカにとって良い生息環境となると思われるので今後も同様な施工を行っていただきたい。
- 大谷海岸
現地の砂に植物の貴重な種等が多く含まれているため、取り置きし再利用することが望ましい。
- 中島海岸・津谷川
場内に創出した湿地帯は人工的な仕上がりではなく、自然な仕上がり望ましい。
- 志津川漁港海岸
旧堤防の瓦礫等にアオサが付着し鳥類（コクガン）の良い餌場となるため、出来る限り残していただきたい。



コクガン（カモ目カモ科）
冬鳥として沿岸部各地に渡来する。近年、砂浜に車両ごと立ち入って遊ぶ人が増えており、コクガンが必要とする安全な休憩地を脅かす存在となっている。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



平成29年度 第3回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（仙台管内）を開催しました



平成29年8月25(金)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（仙台管内の7箇所）における環境配慮について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

現地検討会の様子



蒲生干潟（仙台市）



北貞山運河（仙台市）



閑上漁港海岸（仙台市）



赤井江遊水地（岩沼市）



荒浜漁港海岸（亶理町）



大畑浜（亶理町）

アドバイザーからの主な意見

- 動植物の移植作業を行う場合は、移植先を分散すること。
- 海岸堤防の工事完了箇所の海側は自然に砂が溜まり、海浜植物等が生息できる良い環境となってきたため、テトラポット等の設置は配慮していただきたい。
- 仮設道路等を設置した箇所には、海浜植生が広がってきているため、復旧作業は行わず、保全することが望ましい。
- 既存堤防を残せるのであれば、できる限り残していただきたい。
- 干潟等の水交換が悪い箇所は、対策を講じていただきたい。



蛭塚（亶理町）

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



平成29年度 第4回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（気仙沼管内）を開催しました



平成29年12月14日(木)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。気仙沼市の松岩漁港海岸、千岩田海岸、杉の下海岸、南三陸町の波伝谷漁港海岸などは、天然記念物のコクガン（宮城県RDB：VU（絶滅危惧Ⅱ類））の越冬地となっており、海岸や漁港の復旧工事における配慮事項について、宮城県環境アドバイザーの竹丸先生・小室先生（日本野鳥の会）に説明・報告し、意見をいただきました。



千岩田海岸（気仙沼市）



波伝谷漁港海岸（南三陸町）

アドバイザーからの主な意見

1. コクガンは早朝に飲水や休憩のため上陸するので、飛来状況を確認し、工事開始時間調整等の配慮をお願いする。
2. 旧堤防の瓦礫にアオサ等が付着し、コクガンの良い採食地となっているため、できる範囲で残せるように検討していただきたい。
3. コクガンが飲水場として利用しているため、各現場で行っている濁水対策の他、真水の流れ込み箇所への配慮をお願いする。



杉の下海岸（気仙沼市）

写真提供：小室智幸氏（環境アドバイザー）

コクガン（カモ目カモ科）

カルガモと同じくらいの大きさ（約60cm）で全体的に色が黒く、首に白い輪があるのが特徴。

堤防や養殖施設に付着している海藻類を食し、河川の流れ込みで飲水し、砂浜に上陸し休息している。

気仙沼湾から牡鹿半島にかけての沿岸海域と仙台湾はコクガンの集団越冬地南限となっている。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。

宮城県土木部・農林水産部

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: Kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



宮城県環境アドバイザー会議を開催しました



宮城県環境アドバイザー会議の開催

平成30年1月18(木)に第4回宮城県環境アドバイザー会議を開催しました。

今年度4回開催した現地検討会（6河川・10海岸）において環境アドバイザーからいただいた環境配慮の取組に関する指導・助言・その後の対応、および今年度実施した河川海岸環境調査結果等について、出席いただいた9名のアドバイザーに説明・報告し、意見をいただきました。

アドバイザー会議の様子



アドバイザーからの意見（指導・助言）

- 工事箇所の砂及び水が非常に大切なものであると認識した環境配慮の取組が行われているので、今後も引き続きお願いする。
- 河口部に堆積している砂を取り置きし、護岸に覆土として利用する等の検討を行っていただきたい。
- 地元の方たちが自分たちの故郷を自分たちの手で回復していこうとする活動があちこちで湧き上がっていると聞いている。行政もそういった活動と連携していると思うが、地元活動と関わりを持ち、将来の自然とふれあいの場を創出を意識したデザイン作業をお願いしたい。

今後について

県内の復旧・復興工事箇所の自然環境については、想定を上回る早さで回復していることが報告されています。その中で復旧・復興工事も一定程度進み、各工事箇所で実施してきた環境保全の取組についても一定の効果が確認されております。

今後も環境アドバイザー会議や現地検討会、河川海岸環境調査を継続し、環境アドバイザーの指導・助言をいただきながら、自然環境と共存した復旧・復興工事に努めて参ります。

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



ミナミメダカの移植を行いました。

仙台土木事務所管内：朴島（塩竈市）



移植作業

平成29年9月15日（金）に重要種であるミナミメダカの移植作業を朴島（塩竈市）で行いました。宮城県環境アドバイザー（高取先生：魚類）からの助言により、工事範囲内に生息しているミナミメダカを保全することを目的とし実施しました。移植作業は魚体を痛めないように約500個体採捕し、工事範囲外の湿地帯へ放流しました。



ミナミメダカ（準絶滅危惧種）

ミナミメダカ

（宮城県RDB：準絶滅危惧種）

平野部の河川、湖沼、運河等に生息し、島嶼の塩性湿地でも見られる。東北太平洋沖地震で大規模に被災したが、地域の復旧に伴い復活した生息地がある。



ミナミメダカ採捕の様子



採捕したミナミメダカ



ミナミメダカ放流の様子



※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。

宮城県仙台土木事務所 河川砂防第三班

TEL: 022-297-4151 FAX: 022-297-4170

E-mail: sddbks3@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/snd-doboku/>



ツルフジバカマの移植作業を行いました

気仙沼土木事務所管内：気仙沼市本吉地区



気仙沼市本吉地区の河川災害復旧工事区間において、希少種のヒメシロチョウが確認されました。この貴重なチョウを保全するため、宮城県環境アドバイザーの溝田先生（昆虫類：宮城教育大学）、滝口先生（宮城植物の会）、杉山先生（宮城植物の会）に指導・助言をいただき、堤防に自生しているヒメシロチョウの幼虫の食草となっているツルフジバカマを工事範囲外に移植し、チョウの新たな生息の場を創出することとしました。移植作業は2回に分けて実施し、第1回目は、平成29年12月15日（金）に環境アドバイザーの先生方立合のもと、約50株の移植と種子の採取を行いました。



ヒメシロチョウ

ヒメシロチョウ（チョウ目シロチョウ科）

環境省RL：EN 絶滅危惧IB類

宮城県RDB：CR+EN 絶滅危惧I類

羽根を広げた大きさが40mm程の蝶。羽根は白色で前羽根の端に黒っぽい斑紋があるのが特徴。河川の堤防改修、草原や堤防の採草・草刈りの停止による食草ツルフジバカマの衰退、草原や堤防の一斉草刈り、農薬散布などによりヒメシロチョウの生息環境が減少している。



ツルフジバカマの採取



ヒメシロチョウの幼虫が食草とするツルフジバカマ（マメ科）



ツルフジバカマの移植

環境アドバイザーからの主な意見

移植を行った株は十分な散水・必要に応じて周囲の刈り払いの手入れを行い、月1回程度の経過観察を行っていただきたい。

リスク回避のため、2回目の移植作業は移植先を広い範囲に分散させたほうが良い。

今後の保全対策

2回目の移植作業時は、採取した種子をポットで育成し、地元の小学校やボランティアに協力いただき、ヒメシロチョウの1回目の羽化が終わる5月～6月頃に行う予定です。（調整中）

宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第二班

TEL: 0226-24-2578 FAX: 0226-24-2596

E-mail: k.sdbkksb2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>



宮城県環境アドバイザー 第2回 蒲生現地検討会を開催しました



平成30年5月21日（月）に、鳥類及び底生動物等の貴重な生息の場（鳥獣保護区）となっている七北田川河口の蒲生干潟において、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。

七北田川災害復旧工事における環境配慮の取組・干潟の水交換について、説明・報告し、アドバイザーから指導・助言をいただきました。

検討会の様子



アドバイザーからの主な意見

- 干潟の水交換について
 - ・仮通水路の設置により、干潟の水交換が良くなっている。継続して状況を確認すること。
 - ・干潮時に干潟の奥側と手前側の水の流れが分断されているため、干潮時に滞筋が残るよう滞筋を掘削していただきたい。
- 干潟中央部の湿地帯への通水について
 - ・旧堤防に隣接する湿地帯は以前、動植物にとって良好な環境であった。現在は、砂が堆積し満潮時でも水が流れ込まない状況にある。以前の環境に戻るよう、滞筋を掘削していただきたい。

⇒滞筋2箇所の掘削を実施。現在の水交換状況は良好。



※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施行を実施していきます。

宮城県仙台土木事務所 河川砂防第二班

TEL: 022-297-4172 FAX: 022-297-4170

E-mail: sddbks2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/snd-doboku/>



平成30年度 第1回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（東部管内）を開催しました



平成30年8月7日(火)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（大沢川・皿貝川・南北上運河・大曲浜海岸・州崎海岸）における環境配慮事項について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。



○大沢川・皿貝川（石巻市）

背割堤の環境配慮事項は素晴らしい。今後は覆土した場所が帰化植物の優占が心配される。（アドバイザーからの意見）



○州崎海岸（東松島市）

前回、前浜に移植したハマナスは波を被ってしまいダメになってしまったので、できる範囲で前浜にマウンドを作り、差し木・播種等を行うと良い。（アドバイザーからの意見）



○南北上運河（東松島市）

仮移植地で結実しているハマナスから、大曲浜の残存松と防潮堤との間に播種を行う良い。とまた、新堤と旧堤の間がハマナスの生息域として適していると思われるので、今後、移植や挿し木を検討すると良い。（アドバイザーからの意見）



ハマナス（準絶滅危惧）

本県の海岸域に生育するが、生育域は比較的限定させている。園芸植物として採取される危惧がある平成23年の東日本大震災の大津波に遭遇し絶滅した所も多くある。

※写真は津波に遭遇したが、回復した州崎（野蒜）海岸のハマナス

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



平成30年度 第2回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（気仙沼管内）を開催しました



平成30年8月20日(月)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（戸倉海岸・伊里前漁港海岸・津谷川・中島海岸・大谷海岸）における環境配慮事項について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。



○戸倉海岸（南三陸町）

この場所は岸壁海岸なので上部の道路脇にハマヒルガオ等の海浜植物を植える検討をしていただきたい。

（アドバイザーからの意見）



○伊里前漁港海岸（南三陸町）

伊里前川左岸河口部に残っている干潟（旧堤防の瓦礫等）は底生動物等が多く生息しているので残すことが望ましい。

（アドバイザーからの意見）



○津谷川・中島海岸（気仙沼市）

津谷川右岸河口部の湿地帯は、現状では平坦に整地しているが、所々に小山を作って起伏をつけると良い。起伏を付けることにより、流路も確保され、直線的にならない。（アドバイザーからの意見）



○大谷海岸（気仙沼市）

今年の秋より、本格的に着手する予定である大谷海岸。改変（工事）範囲内には、多様な生物が生息するため、最大限環境への影響が低減できる配慮事項を環境アドバイザーへ説明。（気仙沼土木事務所）

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



平成30年度 第3回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（仙台管内）を開催しました



平成30年8月27日(月)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（七北田川（蒲生）・閑上漁港海岸（井戸浦）・北貞山運河・赤井江遊水地・五間堀川・荒浜漁港海岸・蛭塚（鳥の海））における環境配慮事項について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。



○七北田川（仙台市）

導流堤の手前と奥の水交換状況を確認するため、奥の水質測定点でも水位の調査を行う必要がある。同様に底生動物調査も必要。（アドバイザーからの意見）



○北貞山運河（仙台市）

岸辺の浅瀬は、動植物にとって良い生息環境となっているため、できる限りそのままの状態を保全していただきたい。（アドバイザーからの意見）



○荒浜漁港海岸（巨理町）

防潮堤の背後地に設置した工事用道路の盛土部は生物にとって良い環境となっているので残置できるような検討を行っていただきたい。（アドバイザーからの意見）

※上記、アドバイザーより意見をいただいた箇所については、環境に配慮した施工を実施していきます。



○蛭塚（巨理町）

湿地内を滞筋を設置する際は、斜面をつくと良い環境になる。また、水際の勾配の緩い箇所に自然石を置いて、底生動物が生息できる環境を創出すると良い。（アドバイザーからの意見）

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



宮城県環境アドバイザー 第3回蒲生現地検討会を開催しました



平成30年11月9日（金）に、鳥類及び底生動物等の貴重な生息の場（鳥獣保護区）となっている七北田川河口の蒲生干潟において、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。

冬期に七北田河口部へ飛来するコクガンへの現場における配慮事項について、報告・説明を行い、環境アドバイザーから指導・助言をいただきました。

検討会の様子



○コクガンへの配慮（11月～3月）

コクガンは早朝に飛来し、川で水を飲み、寄りに上陸して羽繕い、休憩した後、飛び立つことから、早朝は人影騒音などで驚かせないように配慮する。

- ・作業開始時間は早朝を避け、午前9時からとする。（作業員の現場事務所集合も8時30分以降）
- ・作業開始前に飛来状況を確認する。（8時30分頃）
- ・飛来が確認された時は、飛び立つまで作業中止。

○環境アドバイザーからの主な意見

- ・9時までは、音の出る作業はしない。
- ・現場作業完了後は重機のアームを下げる。
- ・飛来状況の確認は、最初に肉眼で行い、肉眼で判別が出来ない場合は、双眼鏡を使用する。（最初から双眼鏡を使用するとコクガンが警戒する。）
- ・飛来箇所付近に近づくと、一般の方へも注意喚起して欲しい。



コクガン（カモ目カモ科）天然記念物

コクガンの生息地要因として、採食地のほかに淡水の飲水場、上陸しての休憩地がある。近年、砂浜に車両ごと立ち入って遊ぶ人が増えており、コクガンが必要とする安全な休息地を脅かす存在となっている。カルガモと同じぐらいの大きさ（約60cm）で全体的に色が黒く、首に白い輪があるのが特徴。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施行を実施していきます。

宮城県仙台土木事務所 河川砂防第二班

TEL: 022-297-4172 FAX: 022-297-4170

E-mail: sddbks2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/snd-doboku/>



平成30年11月30日
東部土木事務所

南北上運河における希少植物の移植作業を実施しました！

宮城県では、東日本大震災の河川・海岸災害復旧工事の実施にあたり、自然環境への配慮が必要なことから、平成25年度に「宮城県環境アドバイザー制度」を設け、学識経験者から環境配慮事項について助言・指導をいただきながら、環境に配慮した復旧工事を進めております。

今般、南北上運河河川災害復旧工事が終期を迎えることから、工事における最後の移植作業として、11月21日に環境アドバイザーに状況を確認していただきながらハマナス・ナミキソウの移植作業を実施しました。



ハマナス（移植）



ハマナス（播種）



ハマナス・ナミキソウの移植完了



移植状況の確認



ハマナス
海岸砂丘に群生する落葉低木



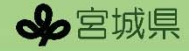
ナミキソウ
海岸の砂質土壌に生育する多年草

本来両種が生育する海岸砂丘に近い環境を移植先として選定しました。今後、株数の増加が期待されます。
来年、きっと見事な花を咲かせてくれるでしょう！

これまでの活動状況については河川課 HP をご覧ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/env-ad.html>

災害復旧工事における環境配慮への取組み

気仙沼土木事務所



東日本大震災で被災した河川・海岸の災害復旧工事における気仙沼土木事務所管内の環境配慮への取組み事例を紹介します。

○希少植物の保全

工事範囲にウミミドリ・オオシバナ・ハマサジ・ハマナス等の希少植物が生息していたため、環境アドバイザーより指導・助言をいただきながら、工事範囲外へ移植及び播種を行いました。



○希少昆虫の保全

工事範囲に、希少なチョウの生息が確認されたことから、チョウの生息環境を保全する試みとして、環境アドバイザーの指導の下、地元小学校の協力を得ながら、チョウの幼虫が食草とする植物の苗育成、工事範囲外への移植等を行いました。

小学校の野外学習の一環として、環境アドバイザーによるチョウの生態に関する授業や、苗育成・移植、観察会等を行い、地域の貴重な自然環境を残していく取り組みを行いました。



宮城県気仙沼土木事務所

TEL: 0226-24-2578 FAX: 0226-24-2596

E-mail: k.sdbkksb2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>



宮城県環境アドバイザー現地検討会（鳥類：コクガン）

気仙沼・東部・仙台管内を開催しました



平成30年12月3日（月）と10日（月）に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。天然記念物のコクガン（宮城県RDB：VU（絶滅危惧Ⅱ類））が飛来する海岸や漁港、河口部周辺で行われている災害復旧工事におけるコクガンの配慮事項について、環境アドバイザーの竹丸先生・小室先生（日本野鳥の会）に説明・報告し、意見をいただきました。

検討会の様子



波路上漁港海岸（気仙沼市）



七北田川河口（仙台市蒲生地区）



長須賀防災林・長須賀海岸（南三陸町）



七北田川河口部に飛来するコクガン

アドバイザーからの主な意見

1. 気仙沼や東部管内のコクガン飛来箇所は殆どは上陸場所ではない。工事現場近くでの水飲み、採食行動は7時30分頃には終わるので、8時以降の工事開始が良い。
2. 七北田川河口部は、コクガンの上陸場所となっている。8時30分に飛来状況を確認し、コクガンがいる場合は飛び立ってから、いない場合は、9時から工事を開始することで良い。

※環境アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。



谷川海岸・谷川漁港海岸（石巻市）

宮城県土木部・農林水産部

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: Kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



宮城県環境アドバイザー会議を開催しました



平成31年2月13(水)に第5回宮城県環境アドバイザー会議を開催しました。今年度、開催した現地検討会（沿岸部の6河川・19海岸）においての各現場の環境配慮の取組状況及び、今年度実施した河川海岸環境調査結果等について、出席いただいた12名のアドバイザーに説明・報告し、ご意見をいただきました。

アドバイザー会議の様子



アドバイザーからの意見（指導・助言）

- 環境配慮事項の経年変化が分かるように、各部局で実施した取組事項（移植・播種等）を一覧表にまとめていただきたい。
- 取組事項のモニタリング調査・アフターケアについてもお願いします。環境配慮実施一覧表があり、モニタリング結果があれば、方法や場所の良し悪し等、今後の取組みに生かせることができる。

今後について

会議にて、アドバイザーよりいただいた意見については各課室にて精査し、今後の取組みに反映します。また、復旧・復興工事の参考となるよう、公表した「宮城県河川海岸環境指針」を更新し、記録として残していきます。

次年度も環境アドバイザー会議や現地検討会・河川海岸環境調査（モニタリング調査）を継続し、一日も早い、震災前の自然豊かな沿岸部の環境や景観の復元・創造と共に、地域の方々が安心した暮らしを取り戻せるよう全力で復旧・復興工事の進捗を図って参ります。

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



宮城県環境アドバイザー第4回蒲生現地検討会を開催しました



令和元年6月17日（月）に、鳥類及び底生動物等の貴重な生息の場（鳥獣保護区）となっている七北田川河口の蒲生干潟において、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。

七北田川災害復旧工事における環境配慮の取組・干潟の水交換について、説明・報告し、アドバイザーから指導・助言をいただきました。

検討会の様子



アドバイザーからの主な意見

- 干潟中央部の湿地帯について
・澁筋掘削を行い、希少な種を土ごと移植した結果、個体の広がりが見られるため、継続モニタリングしてほしい。
- 工事中における環境配慮について
・掘削・埋戻しを実施する場合、平らにせず、アンジュレーション（起伏）をつけて自然に近い形で残してほしい。



※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施行を実施していきます。

宮城県仙台土木事務所 河川砂防第二班

TEL: 022-297-4172 FAX: 022-297-4170

E-mail: sddbks2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/snd-doboku/>



希少植物（アサザ）の移植を行いました。

東部土木事務所管内：皿貝川・大沢川（石巻市北上町）



移植作業

令和元年6月21日（金）に希少植物であるアサザの移植作業を皿貝川河口で行いました。皿貝川の護岸工事の実施に伴い、アサザを一時的に保護していましたが、このたび工事が完了したことから移植をしました。環境アドバイザーの助言をいただきながら、保護した個体を元の場所へ戻す作業と、リスク低減のため大沢川背割堤への分散移植を県職員で実施しました。



アサザ（宮城植物の会 写真提供）



移植の様子

アサザ

（宮城県RDB：絶滅危惧Ⅱ類）

浮葉性植物で、地下茎をのばして生長する。スイレンに似た切れ込みのある浮葉をつける。平地の湖沼に生息するが、県内では生育地は局限されており、個体数も減少している。



一時的に保護したアサザ



移植後のアサザ

移植結果

皿貝川右岸に2箇所、大沢川背割堤に1箇所移植しました。なお、1箇所あたり9株、計27株を移植しています。

今後は移植を行ったアサザの生育状況のモニタリングを行っていきます。

宮城県東部土木事務所 河川砂防第四班

TEL:0225-98-3501 FAX:0225-93-8168

E-mail: et-dbkks4@pref.miyagi.lg.jp HP: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-dbk/>

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kase>



令和元年度 第1回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（仙台管内）を開催しました



令和元年8月19日（月）に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（坂元川・荒浜漁港海岸・蛭塚（鳥の海）・赤井江遊水地（五間堀川）・北貞山運河・関上漁港海岸（井戸浦））における環境配慮事項について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。



○坂元川（山元町）

河道内にある中州を改変せずに施工を行い、その結果、ヨシ原が残っているのは非常によい。今後、環境調査を行い、効果を検証するとよい。（アドバイザーからの意見）



○赤井江遊水地（岩沼市）

高水敷をアンジュレーション（起伏）をつけて、自然の形に仕上げることで、海浜植物の生育が促されていて良い。（アドバイザーからの意見）



○北貞山運河（仙台市）

自然石を用いるなど、環境・景観に配慮した護岸を整備していて、素晴らしい。（アドバイザーからの意見）



○関上漁港海岸（仙台市）

工事完了時に、仮設道路や施工ヤードを自然に近い形に直すとよい。（アドバイザーからの意見）

※上記、アドバイザーより意見をいただいた箇所については、環境に配慮した施工を実施していきます。

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



令和元年度 第2回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（気仙沼・東部管内）を開催しました 宮城県

令和元年8月26日（月）、27日（火）に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（田中浜、大谷海岸、津谷川、志津川漁港海岸、十八成浜、荻浜港海岸、州崎海岸、長浜海岸）における環境配慮事項について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

現地検討会の様子



大谷海岸（気仙沼市）



津谷川（気仙沼市）



荻浜港海岸（石巻市）



州崎海岸（東松島市）

アドバイザーからの主な意見

- 大谷海岸
移植した植物が、周囲の雑草に被圧されて成長が良くないので、草刈り等の手入れをしたほうがよい。
 - 津谷川
外尾川の水門からもっと海水が入り込んで海水交換ができるように、今後の工事の中で水門周辺において工夫をしてほしい。
 - 荻浜港海岸
背後の水路工事も水門工事と同様に、環境配慮をしてほしい。
 - 州崎海岸
不老山付近に生息するハマナスの生息状況は良好である。引き続き、除草の手入れ・播種（前浜）等の取組を行っていただきたい。
- ※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。

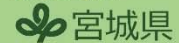
宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



宮城県環境アドバイザー第5回蒲生現地検討会を開催しました



令和2年1月23日（木）に鳥類及び底生動物等の貴重な生息の場（鳥獣保護区）となっている七北田川河口の蒲生干潟において、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。

冬期に七北田川河口部へ飛来するコクガンへの現場における配慮事項及び干潟の水交換について報告・説明を行い、環境アドバイザーから指導・助言をいただきました。

検討会の様子



アドバイザーからの主な意見

- 天然記念物のコクガンへの配慮について
・引き続き3月まで配慮してもらいたい。
- 干潟内外の水交換について
・左岸側導流堤の脇に滞筋が確保されているため、干潟の水交換が良くなっている。継続して状況を確認すること。

○コクガンへの配慮（11月～3月）

コクガンは早朝に飛来し、川で水を飲んだり、寄州に上陸して羽繕いや休憩した後に飛び立つことから、早朝は人影や騒音などで驚かせないように配慮する。



蒲生干潟全景（令和2年1月7日撮影）



コクガン（カモ目カモ科）天然記念物

コクガンの生息地要因として採食地の他に、淡水の飲水場や上陸しての休憩地がある。近年、砂浜に車両ごと立ち入って遊ぶ人が増えており、コクガンが必要とする安全な休息地を脅かす存在となっている。カルガモと同じぐらいの大きさ（約60cm）で、全体的に色が黒く、首に白い輪があるのが特徴。

※アドバイザーよりいただいた意見（指導・助言）を踏まえ、引き続き環境に配慮して施工していきます。

宮城県仙台土木事務所 河川砂防第二班

TEL: 022-297-4172 FAX: 022-297-4170

E-mail: sddbks2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/snd-doboku/>

